

ISAF 2002年次総会 報告
11月8日 16日、Limassol Cyprus

今回は Youth & Development Committee の Member である青山氏が都合つかず参加出来ませんでした。下記の委員が夫々の Committee を中心に参加頂きました。(順不同)

穂積 八州雄	Council
広瀬 興郎	Events & Youth World Championship Sub-Committee
柴沼 克巳	Int'l Judge Sub-Committee
鈴木 明善	Int'l Umpire Sub-Committee
富田 稔	Offshore Committee & Sub-Committee
戸張 房子	Women's Committee & Forum
清水 昭	Medical Commission
大谷 たかお	Centerboard Boat Committee

参加頂いた各委員より夫々報告されますが 私の参加した Events Committee の討議内容を以下報告いたします。

記

EVENTS COMMITTEE

11月13日 10:00 19:30

Chairman: Bjorn Unger SWE

Vice Chairman: Sadi Claeys BEL

Committee Member 20名

傍聴者 約40名

1. 前回(5月の Mid-Year Meeting) 議事録の確認

2. 懸案議題

将来のオリンピックの様式と艇種に関する4議題の内3案は否決し1案は 2003・11月に先送りした。

3. Mixed Sailing

女性参加を増やす IOC 要望に応じて オリンピックへの導入

提案だが Mixed Sailing は定義が不明確で 現在の Men Women の方式で充分対応できるし 又 Yngling は Women であるから 敢えて追加必要なしとして否決(否11、賛9)。日本は 470の男女夫々のオリンピックにおける位置付けに問題であるとの理由で反対。

4. Wind Surfing の Men & Women を将来のオリンピック種目とする件

HongKong よりの提案は 現 Mistral の問題の対応と替わりの Board の選定など時間を要するので賛成多数で 2003・11月に先送りする。又 HongKong よりの新しい Wind Surfing の選定手順の提案は賛成多数で承認。

5. オリンピックの Qualification 2003/2004 について。

- (1) Entry は MNA の承認を必要とする
- (2) 参加選手は国際 Class 協会の Member であること
- (3) Entry の最大数は下記とする
 - Centerboard Boat - 160
 - Keel Boat - 120
 - Boards - 160
- (4) Start Line での最大数は下記とする
 - Centerboard Boat - 80
 - Keel Boat - 60
 - Boards - 80
- (5) ある Class で上記数を超える場合は 分割して Race を行う
- (6) 2003Entry の配分は下記とする
 - ISAF Ranking List 2003・6・1により 各国は夫々の Class の Top 6までの選手を Entry できる
 - ISAF Ranking List に一名ないし無名の国は 2艇までは Entry できる
 - 上記 Entry は 2003・6・15までとする
- (7) 2007および2008の Qualification 方式は 2003の Spain Cadiz での結果により 決める

6. Wind Surfing の選定について

ISAF Wind Surfing Committee の提案に基づき 2003の 5月 7月までに将来のオリンピック使用 Boards を選定する為 Trial Race を行う。

各 Boards の Maker が参加できるものとし、幅広い風の条件に適応出来且つ男女共通に使用できるものとする。

選定基準は Events Committee の下に Working Party を設け 上記 Trial の結果を含め2004・11月に決定する。

7. オリンピックの艇種 選考手順について。

昨年来検討されてきた選考手順につき 各方面からの意見をいれて 現 ISAF 規則(Regulations)

16.1.1、2 & 3を次のように変更する

- (a) オリンピック7年前の 11月 Meeting にて艇種および選考の基準を決める。
- (b) オリンピック5年前の11月 Meeting にてレース方式を決める
- (c) オリンピック4年前の11月 Meeting にて艇種を決定する

(d) 次のオリンピック艇種はその前のオリンピック使用艇種の最大40% (= 4艇種)まで変更できるが 決定は Council で70%以上の賛成を要し もし4艇種以上が選ばれたら 賛成票の多い順とする。

又 オリンピックの使用艇種の提案は 上記(c)艇種決定の年の3月15日までとする。上記 (a), (b),(c),(d)の決定は 次の Council で変更されないものとする。

8. オリンピック種目の大会について。

各オリンピック種目の国際 Class が行う大会や オリンピックの Qualification 大会では 各 Class が勝手に行うのではなく ISAF が 管理徹底できる大会とする為下記項目を遵守させる。

- Judges - 全ての Judges は ISAF 承認とする
- 大会 - 各 Class より事前に ISAF に連絡する
- 大会役員 - ISAF より IR(Int'l Race Officer)や Course Representative を派遣できる
- Entry - ISAF 規則により 全ての Entry を ISAF が Check できる
- Measurement - ISAF の IM(Int'l Measurer)が大会期間中に Check または調査できる
- Notice of Race と Sailing Instruction - 全ての大会は ISAF 承認の様式とする
- 得点方式 - ISAF 得点方式とする

9. スピンネカーの国旗採用について

トルネード、470、Europe から 提案の Sail の認識方法については 2003 年の Spain Cadiz の結果をみて早急にきめる

10. Youth World Sailing Championship について

- (1) 現 ISAF 規則17の変更提案の原則は支持するが 詳細は2003年の Mid-Year Meeting 決定とし Youth Sub-Committee にて詰める
- (2) Multi-Hull の採用は2004年以降となっているが 2003年に Trial を行う為の基準を早急に決める必要がある
- (3) Board の Charter 制または乗り回し制の日本提案は 将来に備えて検討要だが 2003年(ポルトガル) 2004年(ポーランド)に Mistral が 無償提供すると11月10日の申し出により 取りあえずは取り下げた

11. ISAF 大会(Events)への参加資格 Nationality について

現 ISAF 規則 17.3を次のように変更する

- (1) 選手はその国に4年以上居住して 必要ならそれを証明できること
- (2) 又は選手は MNA や MNA に所属する Club に3年以上 Member の資格を有していること
- (3) 選手はある国を代表してオリンピックや ISAF World などの大会に出てから 4年経過してからでないと別の国の代表にはなれない

12. World や Continental 大会について

- (1) 国際 Class 協会が行う“World Championship”についてより厳格な規定を設けるとの Executive の提案は現実的ではなく むしろ制限を加えることになるので 反対多数で否決
- (2) “World Championship”の Youth Class の年齢制限を更に細分化(12歳以下、14歳以下、16歳以下、19歳以下など)すると Youth&Development Committee の提案は 同年齢同志でレースさせるという趣旨は理解できても 現実の実施は困難という理由により反対多数で否決
(日本は OP Class を考え当然反対)
- (3) “World Championship”のいくつか Schedule でぶつかるケースへの対応についての Executive の提案は ISAF Executive の権限強化となり 一方的過ぎるとの理由で反対多数の否決
- (4) “Continental Championship”を行う組織委員会は大会が行われる場所の国の MNA の承認を必要とすべし という President の提案は反対多数にて否決
- (5) 新しい“ISAF Sailor”登録者を現規則 19.2 ISAF Eligibility に加える President の提案は “ISAF Sailor”の資格審査があいまいであるという反対多数で否決

13. Team Racing Sub-Committee の設置について

昨年 11 月の承認に引き続き その機能(Terms of References)の詳細提案が Executive から出され賛成多数で承認。ただし 470 協会から提案の 470 級 Team Race は詳細要検討のため先送りとする。

14. 2006 年の ISAF Youth World.

GBR Royal Yachting Association から UK で行いたいとの提案は原則 OK だが 詳細は Youth Sub-Committee で詰める。

- 2002年 Canada 実施済み
- 2003年 Portugal 決定済み
- 2004年 Poland 決定済み
- 2005年 New Zealand または Korea
- 2006年 UK

15. 日本でのオリンピック Week について

会議ではなく個別に話したが 例外なく興味持っているとの反応だが その具体的内容や Pamphlet など印刷物による継続的 PR が必要。ドイツ ヨット協会会長は Keel Week の Know How 教えると言ってくれている。江ノ島か小戸か場所と責任体制をまず設定する必要あるのではないか。

16. Asia 諸国との関係

参加の Asia 諸国(中国 インド パキスタン シンガポール 台湾 韓国は今回欠席など)との共通話題は現 ASAF 使用艇の出来るだけ長い期間の継続である。今後ともあらゆる機会を捕らえ 470、Laser、OP、Board などで体格的に差のない艇種の推進が必要

以上